

紀伊半島大水害から11年 水害リスクを視覚的に体感するマイクロモデルを展示

— 紀南河川国道事務所 —

紀伊半島大水害から11年となるのに合わせて、新宮市防災企画展「あの日を忘れない 未来へつなげる防災・減災」に当事務所が保有するマイクロモデル（卓上模型）を展示し、住民に熊野川・市田川の河川特性、浸水リスク、氾濫の危険性を視覚的に体感し、防災意識の向上、自助力・共助力の強化を図りました。

- 日 時：令和4年9月2日～9日
- 場 所：新宮市役所1Fギャラリー（2、5日）
4F階段横（6～9日）
- 展示内容：避難情報ポスター、非常持ち出し袋、
新型コロナ対策避難所体験コーナー、
パネル展示（平成23年台風12号）、
紀伊半島大水害DVD放送（市所有）
防災ロールプレイングゲーム（県所有）
マイクロモデル（事務所所有）



職員が住民にマイクロモデルを用いて熊野川・市田川の水害リスクを説明している様子

【問い合わせ先】
国土交通省 近畿地方整備局
紀南河川国道事務所 調査課

〒646-0003
和歌山県田辺市中万呂142
TEL 0739-22-4564

